

# 城山小学校 第862回 平和祈念式 令和5年5月9日



今から78年前、まだ先生方も生まれていない頃のことです。日本はよその国と戦争をしていました。昭和20年8月9日11時2分、長崎に原子爆弾が落とされました。その恐ろしい爆弾のため、たくさんの方がなくなったりひどいけがをしたりしました。原爆が落とされた場所から500mしか離れていない城山地区もほとんどの建物が壊され、たくさんの方がなくなりました。城山小学校にいた先生は31人のうち28人が、児童は1,400人あまりが家庭でなくなったそうです。

その中で、命だけは助かった子供たちがいました。その子供たちのことが書いてあるお話があります。それがこの本です。「世界でいちばん悲しいクラス」というお話です。たくさんの方が読んだことがあるのではないのでしょうか。今日は、1年生が初めてですので、この本のことについてお話をしたいと思います。

この本では、生き残った先生方と子供たちの様子が描かれています。八幡（はちまん）神社に集まり、みんなの無事や今の様子を確認しあったこと。その後、稲佐小学校の教室を借りて授業を受けたこと。雨の日は傘もなく濡れながら裸足で学校に行ったこと。窓ガラスがなくて冬はとにかくふるえるように寒かったこと。

そのような中で迎えた卒業式は、卒業生は14名、卒業生を見送る在校生は20名でした。原爆で亡くなった家族や友達のこと、苦しかった生活のことを思い、みんな涙が止まらなかったそうです。それから2年後、校舎を修理して城山小学校として新たに出発しました。しかし、戦争が終わっても原爆による病気で亡くなる子供もいて、「原爆で亡くなった子供たちをいつまでも慰めるために」、そして「平和への強い思いを込めて」、「少年平和像」がつけられました。それから、毎月、平和祈念式を行うようになりました。

みなさんがいつも「少年平和像」への拝礼を心がけている姿、本当に素晴らしいと思います。これからも、この思いを大切にして、続けていってほしいと思います。1年生のみなさんもこれから心がけていきましょう。